



おきなわ



提供 花城康喜広報部理事

沖縄県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1、使命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2、公正

品位を保持し、
公正な立場で誠実に業務を行う。

3、研鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

会長挨拶	沖縄県土地家屋調査士会 会長 金城 行 男	1
着任の挨拶	那覇地方法務局 局長 山 内 恵	3
うるま市と大規模災害時における支援協定を締結		6
出前授業・職業理解講座		
	出前授業 沖縄県立美来工科高等学校	7
	職業理解講座 沖縄県立沖縄工業高等学校	9
第60回定時総会		11
法務大臣表彰受賞	中部支部 比 嘉 定 善	14
全国一斉不動産表示登記無料相談会		15
令和6年度第1回業務研修会		17
九州ブロック協議会 会長会議・担当者会同		18
寄 稿	中部支部 花 城 康 喜	23
	那覇支部 親 泊 仲 孝	25
	那覇支部 島 袋 裕 二	26
支部だより 宜野湾支部		28
公嘱協会だより		29
新入会員紹介		31
新入会員挨拶	中部支部 山 城 ル ネ	32
	中部支部 比 嘉 尚 樹	32
	北部支部 岡 梓	33
	中部支部 友 寄 翔 太	33
	(登録順)	
スナップレポート		34
第1回業務研修会・忘年会・新年会・おきなわ境界問題相談センター研修会		
第2回業務研修会・法務局長離任挨拶・合格者オリエンテーション		
法務局長着任挨拶・九州ブロック会長会議ゴルフコンペ、バスツアー		
お知らせ 総務部からのお知らせ		36
用紙等販売のご案内		37
編集後記		38
広 告		40



会長挨拶

会長 金城行男

会員の皆様、沖縄県土地家屋調査士会会長の金城行男です。平素より会務運営につき格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

去る5月17日（金）に第60回定時総会を開催いたしました。那覇地方法務局山内恵局長を初め多くの来賓をお迎えし開催できましたことを大変うれしく感じております。この場をお借りし来賓の皆様、会員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

第60回定時総会では私共執行部に沢山の意見を頂きました。会員の皆様からの沢山の叱咤激励と共に私共も新年度の事業に邁進してまいります。

本年度の主な事業内容を報告する前に、相続登記義務化を迎えての業務の変化並びに物価上昇に伴う景気の変化を感じますので、そのあたりを少し触れさせていただきます。

相続登記義務化が本年4月より始まりました。その中で業務量の変化、業務内容の変化が感じられます。まず業務量ですが、明らかに相続登記義務化以前より増えたと感じます。又、急ぎの仕事が増えた感もあります。

業務内容のほうは、得体のしれない未登記の増築登記や未登記の建物表題登記が増えたと思います。私も平家建の普通の建物謄本を持ち現場に打ち合せに行くと、4階建の巨大化した建物を目の前にし、この建

物と謄本の平家建の建物は同一建物であり増築部分が未登記であると説明を受ける事が多々あります。このような場合、本当にこの建物が謄本の建物と同一の建物なのか慎重に調査しなければならず時間が掛かります。

又、相続に伴う土地分筆登記や相続財産を売り払う売買に伴う境界確定測量も増えた感があります。

私共土地家屋調査士はお客様の急ぎにもある程度対応しなければならないと思いますが、土地家屋調査士として専門家の慎重な調査がより大事だと思います。その辺はお客様としっかり打ち合せを行い、業務を進めて行かねばと思っております。

又、物価上昇に伴う景気の変化に関しては、私は経済学者でないので世界情勢を取り巻く経済動向をお話することはできないのですが、業務量の増加、急ぎの仕事の増加に伴い業務単価も上昇していると感じます。土地家屋調査士としてしっかりと仕事をし、しっかりとした費用を請求し、それをしっかりと次世代に繋いでいくことが今後の土地家屋調査士の未来に繋がると信じております。

以上が、最近の動向に伴う私の感じた部分になります。

それでは、主な本年度の事業執行の内容を下記に報告致します。

執行部全体で対応しておりますのが、美来工科高校1年生を対象としました出前授業です。

こちらは、2年目になります、高校との窓口を社会事業部、全体の調整役と1時限目の屋内授業を総務部、2時限目の屋外での実地事業を業務部と研修部、全体の広報を広報部が担当して行っております。

又、この出前授業をある程度システム化して要望のある学校や機関があれば対応できるようにして行きたいと考えております。

次に、業務研修会を「表示に関する登記における筆界確認情報の取扱いに関する指針」並びに「人生時間の有効活用について」のテーマで行いました。

現執行部では、会員の業務に直結するテーマだけにしぼられるのではなく、幅広くテーマを考えて業務研修会を行おうと話し合い業務研修会を行っております。

次に、会費値上げを検討しておりますので、財務部に対し現在の財務状況を見てわかるよう資料を作成し会員に提示するよう伝えております。こちらの方は連合会の会費値上げの状況と連動している部分もあるので慎重に対応しております。

他の部に関しては、総務部には会の要として会務全体を統括して頂いております。社会事業部には各官公署からの要望など対外的な動きに対応して頂いております。広報部には各部の活動の中マスコミに注目してほしい部分をプレスリリースするなど広報に関する新たなチャレンジを続けて頂いております。

現執行部は全体の方向性を理事全員で決めれば、後は各部部長と担当副会長を中心

にしっかりと自分達で考え会務を執行して頂けます。本当にいつも頼もしく感じております。ありがとうございます。

私はと言いますと、会長としての対外的な役割と、上記の各部活動から生じる問題点に関する相談などに対応しながら、次期も会長を務めているかは定かではないのですが、次年度から2年間続く大型事業である「60周年祭」「九州ブロック協議会担当会」を、この物価高の中どのように開催していけるのかを考えております。物価高の他にも困難な状況は沢山あり、例えばホテルの需要過多、タクシー等の交通手段の少なさ、ゴルフ場の費用高騰と予約困難などです。私が総務部長として担当した前回とも状況は全く違います。考え過ぎても結論は出ないので悩みを述べるのはこれぐらいにしておきます。

この様に、本年度も執行部は会務に邁進しております、会員の皆様におきましては引き続きご理解とご協力をお願いし、簡単ではありますが私のご挨拶とさせていただきます。

令和6年10月31日 (木)



着任の挨拶

那覇地方法務局長 山内 恵

令和6年4月1日付けで那覇地方法務局長を拝命しました山内と申します。

前任は、宮崎地方法務局で、出身は沖縄県南城市です。14年ぶりに地元局である当局に戻ってまいりました。よろしくお願いいたします。

沖縄県土地家屋調査士会会員の皆様には、平素から登記行政、取り分け、表示に関する登記の適正・円滑な運営に格別の御理解と御協力を頂いており、誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。また、不動産の表示登記及び境界の専門家として、日頃から不動産に関する権利の明確化に大きく寄与され、国民生活の安定・向上に御尽力いただいていることに対しまして、改めて感謝申し上げます。

この度は、せっかくの機会ですので、法務局を取り巻く情勢について、5点ほど述べさせていただきます。

1点目は、民事基本法制の見直しについてです。

所有者不明土地問題につきましては、政府全体で取り組むべき喫緊の課題とされており、法務省では、この問題を抜本的に解消するために、不動産登記制度と不動産の所有権を中心とした民事基本法制の見直しを行い、令和3年4月28日に「民法等の一部を改正する法律」及び「相続等により取

得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」が公布されました。

このうち、隣地使用権のルールの見直しなどの土地利用に関連する民法の見直しについては令和5年4月1日から、相続土地国庫帰属制度については同年4月27日から施行されております。

そして、相続登記の申請義務化につきましては、令和6年4月1日に施行されました。

これらの法整備に伴い、相続登記の申請は、着実に増加している状況にありますが、相続登記の増加は、これを契機として、相続不動産の処分や活用の増加につながることであり、その処分等の前提として、土地の境界確認や分筆、建物表題登記といった、土地家屋調査士の皆様が活躍される機会にも少なからず影響してくるものと考えています。このような観点を踏まえ、土地家屋調査士の皆様におかれましても、地域住民の皆様に接する機会には、相続登記の促進について、積極的にPRしていただくようお願いいたします。

2点目は、表題部所有者不明土地解消作業についてです。

令和元年度から、毎年度、一定数の対象土地を選定して、表題部所有者不明土地解消作業を実施しております。この作業にお

いては、土地家屋調査士の皆様を所有者等探索委員に委嘱し、円滑な作業の遂行に御尽力いただいているところであり、改めて感謝申し上げます。

特に、沖縄県においては、先の大戦によって登記簿や戸籍等が消失した経緯があり、このことに起因して、所有者等探索作業においても全国にはない特殊性あるいは困難性があります。この困難な作業を円滑に遂行していくためには、地域の実情に精通し、専門知識を有する土地家屋調査士の皆様の豊富な知識や経験が必要不可欠ですので、引き続き、御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

3点目は、筆界特定制度についてです。

本制度は、土地家屋調査士の皆様に筆界調査委員として御協力いただいた結果、令和5年は、当局管内全体で、20申請、31手続があり、25手続の特定をすることができました。

本制度は、地図の精度の低い地域における筆界トラブルを解決するなど好評を頂いており、仮に訴訟に至った場合においても客観的な証拠となるものとして用いられていますので、土地家屋調査士の皆様には、引き続き筆界の争いに関する御相談を受けられた際などに、本制度の利用を御案内いただくようお願いいたします。

4点目は、災害復旧・復興と不動産登記についてです。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、石川県内では81,000棟以上の建物が被害を受け、同年8月時点において公費解体の申請棟数は、約26,000棟に上って

いるものの解体完了率は約10%にとどまり、公費解体の遅れが指摘されました。遅れの原因の一つに、公費解体には共有者全員の同意が必要とされ、その同意取得に時間を要していることがあり、課題とされました。これを受け、法務省では、環境省と連名で、被災県に令和6年5月28日付け事務連絡を発出し、被災により建物性が失われた場合には建物の所有権等が消滅し、それらの権利者の同意なく、公費解体・撤去を行い得ることを明らかにするとともに、建物性の喪失については、滅失登記により確認することを明記し、これにより、不動産の滅失登記は公費解体の円滑化に資することが改めて位置づけられました。

他方、被災自治体が公費解体の審査を行うに当たり、相当数の対象建物が未登記であったため、登記事項証明書による所有者確認ができず探索等に時間を要する事例が生じ、未登記建物の存在が公費解体のあい路として顕在化しました。このような状況を受け、今後、未登記建物の解消を一つの課題として、不動産登記のあり方がクローズアップされることも想定されますので、皆様には、その動向を注視いただくようお願いいたします。

5点目は、登記手続のオンライン申請についてです。

土地家屋調査士の皆様には、オンラインの利用促進に積極的に御協力を頂いており、令和5年の管内の不動産登記オンライン申請率は約85%と、全国1位の申請率となりました。皆様の御協力に改めて感謝申し上げます。

なお、オンライン申請のメリットをいか

して登記事件処理の効率化・迅速化を図るためには、申請情報を適切な方法で入力していただく必要がありますので、この点につきましても、引き続き、皆様の御協力をお願いいたします。

以上、法務局を取り巻く情勢について5点申し上げましたが、当局としましては、今後とも社会経済取引に寄与できるよう安定した事務処理を行うとともに、各種重要施策に積極的に取り組んでまいる所存ですので、御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴会の今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝・御活躍をお祈り申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

災害時における支援に関する協定書締結

日 時：令和5年12月5日

場 所：うるま市 危機管理課にて

うるま市と沖縄県土地家屋調査士会、公益社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会との「災害時における支援に関する協定書」が締結されました。

平成28年：那覇市、平成29年：豊見城市、平成30年：糸満市に続いて、令和6年うるま市の4市との協定書締結となりました。

土地家屋調査士が地域貢献の一つとして、復旧、復興支援の一翼を担うことが目的です。

金城行男会長から、公益社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会「認定登記基準点」が本島に540点（うるま市内に62点）設置されていることを説明し、復旧、復興支援への助けになればとの説明を行いました。

また、今回の協定書締結を機会に、運用面についての勉強会を双方協力して行っていく事を提案されました。



左から：会長 金城行男、うるま市長 中村正人氏、
沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 代表理事 島袋裕二氏



金城会長挨拶





出前授業・職業理解講座



令和6年 美来工科高等学校 出前授業

総務部長 半 嶺 当 徹

1、開催概要

日 時：令和6年2月22日（木）

講 義：①座学講義「土地家屋調査士とは」 講 師：金城行男会長

②屋外講義「土地家屋調査士の実務」 講 師：細野陽一研修部長、比嘉常博
業務部長、野國昌淳理事

対 象：土木工学科 1年生（生徒数30名）

2、講座内容

①座学講義「土地家屋調査士とは」

土地家屋調査士の業務内容について高校生にもわかりやすいように説明を行いました。

調査士業務としての測量の説明、登記手続きや法規の説明、沖縄県の会員数、報酬等について説明を行いました。高校生には難しかったように感じました。また土地家屋調査士試験の概要を説明し、測量士補を取得することで受験する際に一次試験が免除になることをアピールしました。

金城会長は興味を持ってもらえるように想いを伝え、また進路指導室に土地家屋調査士の仕事に興味を持ってもらえるように資料を配布しました。

他にも調査士会の旗を立て、ハッピを着て目立つように雰囲気作りも行いました。

②屋外講義「土地家屋調査士の実務」

境界位置のトラブルを事例に実際の業務内容に即した内容で講義を行いました。

運動場でTSを据えて実際に境界点を測り、現況と公図がずれている場合を例にあげ生徒に質問しながら対話形式で進めました。現場作業の方が入り込んできやすかったようで生徒も楽しそうに解答していました。実際に測量機械を使用してもらい、どのような流れで仕事が行われているか、イメージしやすい様子でした。

3、感想と考察

高校生向けに専門的内容を説明する際、理解しにくいと感じられた部分がありました。次回は、専門用語を避ける、または必要な専門用語を用いる場合は、より平易な言葉で丁寧に解説することが重要だと思いました。

土地家屋調査士試験の免除制度のような、生徒の関心を引きつけることは良かった。

写真や動画などわかりやすかったと思う。実際の業務内容や報酬に関する内容を示すことで、生徒の理解を深めるとともに、関心を持ってもらいました。

これを機会に高校との連携を増やし、土地家屋調査士をアピールしていきたいです。



座学講義では金城会長がパワーポイントで作成したテキストを使い講義を行いました。



屋外講義は運動場で細野研修部長を中心に実務を踏まえた講習を行いました。



令和6年 沖縄工業高等学校 職業理解講座

総務部長 半 嶺 当 徹

1、開催概要

日 時：令和6年2月27日（火）

講 義：座学講義「土地家屋調査士とは」（全3回） 講 師：金城行男会長

対 象：建築科、土木科 1年生（37名）

2、講座内容

沖縄工業高等学校の「職業理解講座」に参加しました。講座を行っている企業は調査士会の他にも17社あり、生徒は興味のある企業の30分程度の講義を3つ選んで受講することになっており、調査士会も全3回の講義を行い建築科と土木科で併せて37名の生徒が受講しました。

講義は美来工科高等学校と同様に、金城行男会長が土地家屋調査士の仕事について高校生にもわかりやすいように説明を行いました。

3、感想と考察

この職業理解講座での体験は、高校生にとって土地家屋調査士という職業を知る貴重な機会になったことだと思います。土地家屋調査士の講義を選んだ理由を聞くと知らない職業だったからの回答でした。他の生徒も初めて聞いたとの感想が多くありました。また生徒の中には女生徒の割合が多いことも印象的でした。たくさんの企業が参加する中で、土地家屋調査士という職業に興味を持ってもらえたことは認知度を高める機会となったことだと思います。また来年度にもつながるように職業理解講座だけでなく出前授業もできるように併せてお願いしました。



金城会長の講義の様子



1 講義の生徒数は12～13名



1 回約30分の講義を全3回行いました。

第60回定時総会

日 時：令和6年5月17日（金）

場 所：ノボテル沖縄那覇 「ルボンの間」

第60回定時総会とセレモニー、懇親会がノボテル沖縄那覇で行われました。



金城行男会長の挨拶



執行部役員

伊盛進議長のもと議事は進行し、第1号から第6号までの議案が滞りなく決議されました。



議長を務める伊盛進会員



比嘉尚樹会員の倫理綱領斉唱



議事進行中の会場の様子

セレモニー

那覇地方法務局長表彰

【永年功労】 又吉 豊（中部支部）

日本土地家屋調査士会連合会長感謝

【土地家屋調査士会長】

比嘉 定善（中部支部）

【筆界特定制度推進委員会委員】

宮嶋 泰（北部支部）

九州ブロック協議会長表彰

【役員功労】 福原 義隆（中部支部）

玉城 義克（北部支部）

沖縄県土地家屋調査士会長表彰

【永年功労】 上原 哲英（那覇支部）

宮城 寛光（那覇支部）

北城 力（宜野湾支部）

前田 克也（中部支部）



法務局長表彰の謝辞を述べる又吉会員



連合会長感謝の宮嶋会員



那覇地方法務局 山内局長の祝辞



日本土地家屋調査士会連合会 佐々木副会長の祝辞



沖縄県弁護士会 安里副会長の祝辞



ご来賓の皆様

懇親会

沖縄士業ネットワーク協議会のご来賓の方々の紹介、沖縄県弁護士会安里副会長のご挨拶の後、牧野統括登記官の乾杯の音頭をいただき和やかな雰囲気の中で懇親会を行いました。



比嘉定善会員法務大臣表彰受賞

令和6年6月18日（火）東京ドームホテル地下1階「天空」で行われた日本土地家屋調査士会連合会の第81回定時総会において、多年にわたり土地家屋調査士業務に精励して、土地家屋調査士制度の発展と法務行政の円滑な運営に寄与されたご功績に対し、法務大臣表彰が行われ、当会から比嘉定善会員が受賞されました。

比嘉定善会員は平成21年から令和5年までの14年間にわたり当会の理事として尽力し、平成25年からは副会長を3期、令和元年からは会長を2期務められ、令和5年からは名誉会長として務めております。

これからも土地家屋調査士制度発展のためのご指導ご鞭撻を頂きたいと思います。



比嘉定善会員おめでとうございます！

令和6年度『全国一斉不動産表示登記無料相談会』

各支部会場別件数報告

開催実施期間：令和6年7月31日（水）、8月8日（木）

支部名	日 時	開 催 会 場	件 数	計
那 覇	7月31日（水）10時～16時	沖縄県庁 1階県民ホール	8	8
南 部	同 上	与那原町コミュニティセンター 第3研修室	3	3
宜野湾	8月8日（木）10時～16時	宜野湾市役所 多目的会議室	9	9
	7月31日（水）10時～16時	嘉手納町役場 1階ロビー	0	
中 部	7月31日（水）10時～16時	沖縄市役所 1階ロビー	4	12
	同 上	うるま市役所 1階ロビー	8	
北 部	7月31日（水）10時～16時	名護中央公民館 第3研修室	1	7
	同 上	金武町役場 3階中央会議室	3	
	同 上	本部町役場 1階ロビー	2	
	同 上	東村役場 会議室	1	
宮 古	7月31日（水）10時～16時	宮古島市役所 1階ロビー	12	12
八重山	7月31日（水）10時～16時	那覇地方法務局石垣支局 会議室	1	1
計		県下12会場	52	52

那覇支部

県庁 1階県民ホール



南部支部

与那原町コミュニティセンター



宜野湾支部

宜野湾市役所



嘉手納町役場



中部支部

沖縄市役所

うるま市役所



北部支部

名護中央公民館

金武町役場



北部支部

本部町役場

東村役場



令和6年度 第1回業務研修会

日 時：令和6年9月24日（火）

場 所：八汐荘 1階 屋良ホール

野國昌淳理事の司会により開始された業務研修会は、お招きした外部講師より右記の内容の研修が行われました。

開会の挨拶 比嘉常博業務部長
会長挨拶 金城行男会長
閉会の挨拶 細野陽一研修部長

研修内容

研修1 「表示に関する登記における筆界確認情報の取扱いに関する指針についての解説」

講 師：那覇地方法務局 不動産登記部門
総括表示登記専門官 奥間正勝 様
統括登記官 牧野智浩 様

研修2 「人生時間の有効活用について」

講 師：株式会社エムエスアイ
代表取締役社長 安元昌司 様



研修1 講師：奥間正勝 様、牧野智浩 様



研修2 講師：安元昌司 様



研修会の様子



web 配信出席の会員

研修会は昨年度から、集合研修とコロナ禍の際に浸透したweb配信を組み合わせたハイブリット形式で行ったことで、離島地域を含め多くの会員が参加しました。

令和6年度九州ブロック協議会担当者会同

日 時：令和6年10月22日（火）～23日（水）

場 所：ニューウェルシティ宮崎

今年度の九州ブロック協議会担当者会同は宮崎会の担当回で宮崎市内にて行われました。各部の協議事項の一覧をご紹介します。

協議の詳細についてはホームページの会員の広場において各部の議事録を公開しておりますので気になる項目がありましたら、ぜひとも閲覧してみてください。

総務・財務部《協議事項》

1. 会員への指導等が必要な際の対応について
2. 戸籍謄本等職務上請求書使用簿の回収方法について
3. 職務上請求書の追加購入申し込みの取り扱いについて
4. 職務上請求書購入申込の際の誓約書押印について
5. 役員数の削減について
6. 事務局の電話機能について
7. 総会の次第の順番について
8. 年次研修未受講者の職務上請求書を販売しないことのモデル規則の法的根拠について各単位会ではどのような根拠で販売しないのかまた規則定めたのかお聞きしたい
9. 全国統一情報共有・会員管理システムについて、現在の各会の評価と今後の対応について予定をお聞きしたい
10. 苦情相談の対応について
11. 事務局の体制について
12. コミュニケーションについて
13. 災害に対する見舞金、災害時の取り組み、及び規則等の整備について
14. 非調査士実態調査の調査件数について
15. 総会の委任状について
16. 年次研修不履行の会員に対する職務上請求書の取扱いについて
17. 会長の会員に対する指導について各会の具体的な運用を教えてください
18. 支部間の合併について
19. インターンシップ規定について
20. 災害対策マニュアルについて
21. 会議の種類と回数および日当について
22. 会費の減免について
23. 役員報酬等について
24. 事務局職員の定期昇給について
25. 会員減少による会費収入減少について
26. 常任理事会・理事会・支部長会の開催頻度について
27. 理事会・各部会等への参加者へ支払う日当・交通費について
28. 各部の一般事業費の金額について
29. 事務局職員の給与・賞与について
30. 支部運営にかかる県会事務局の仕事負担割合及び事務局運営負担について



総務・財務部部会 会議の様子

31. 会費について
32. 会務従事者に関する保険及び役員・委員の人数について
33. 会務従事者の日当について
34. 社会貢献活動について
35. 会費見直しについて
36. 会費値上げを上程する際の順序、値上げの時期及び次年度予算について
17. LiDAR機能を使った簡易測量について
18. 「基本測量及び公共測量以外の測量」の基準点測量成果の取扱いについて
19. スタティックによる基準点測量の推進について
20. 調査士法第68条について
21. 狹隘道路解消推進に関する事項

業務部《協議事項》

1. 大規模災害による各会の業務に対する対応について
2. 低価格帯のGNSS測量機器について
3. 広大地の分筆等登記に関する取扱いについて
4. 地積測量図の作成方法について
5. 1級河川などの国が管理する土地との境界確認の状況をお聞かせ願いたい
6. 「ネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアル」への対応について、点検に使用する基本三角点等と申請地との距離制限について、他県の状況を確認したい
7. 地積測量図に記載する引照点の扱いについて、各県の対応を確認したい
8. 会員からの要望事項への対応について
9. 法務局への筆界調査委員の推薦について
10. 越境に関する覚書等の作成業務について
11. 登記の処理期間について
12. 連合会による登記基準点測量研修について
13. 法14条1項地図の座標系について
14. 所有者不明土地建物財産管理制度について
15. 境界鑑定人の育成について
16. 相続土地国庫帰属制度について



業務部部会 会議の様子

研修部《協議事項》

1. 年次研修未受講者への今後の対応について
2. 年次研修の効果についてお伺いしたい
3. コロナ以前では、研修への出席率が少ない人に対して、警告を実施していたが、近年はどのように対応されているのかお聞きしたい
4. 年次研修の進捗、開催手法について
5. 年次研修の受講拒否と「職務上請求書」の販売について



研修部部会 会議の様子

6. 研修懈怠者への対策について
7. 大分会の研修受講のお誘いについて
8. 合同研修会について
9. Web研修と集合研修の比率について
10. 最近行った研修について
11. 年次研修での問題点について
12. 過去研修会のアーカイブ化について
13. 研修会の情報共有について
14. 登録年数の浅い会員を対象とした新人研修会の実施について
15. 災害における自治体との関わりについて
16. 狭あい道路解消に向けた研修会開催について各県の取り組みをご教授頂きたい
17. 基準点測量についての研修開催の取り組みについてご教授頂きたい
18. 第1期土地家屋調査士会年次研修未受講者への対応、対策について
19. 関係法令や測量技術以外の題目で好評だった研修があればご教示願います
20. 補助者とのジェネレーションギャップを解消する研修について

社会事業部《協議事項》

1. ADR認証を取得すべきか否かについて
ADRセンターの運営について
2. 執行力の付与に伴う規則改正について
ADRセンターの特定和解への取り組みについて
特定和解について
3. ADRセンターの相談受付方法について
4. 境界問題センターのADR取扱件数並びに筆界特定室への引継ぎ件数について
5. ODRに対する取り組みについて
6. 所有者不明土地管理人の選任について
所有者不明土地について

- 所有者不明土地及び建物に関する他県会の実績について
7. 相続土地国庫帰属制度に関する他県会の実績について
相続土地国庫帰属制度に関する公的機関との連携について
8. 空き家対策協議会に対して調査士会が出来る事を伺いたい
9. 狭あい道路問題について、官公署へ働きかけるような活動を行われている単位会がございましたら、参考とさせていただきますので、お教えください
狭あい道路事業について
10. 災害対策について
災害発生時における復興支援の体制作りについて
11. 大規模災害時の広域連携・九州統一マニュアルについて
12. 認定調査士の取得促進について
13. 学生の就業プログラムについて
14. 対外向け研修会について、各単位会において、計画している対外研修や、継続して行っている対外研修会等があれば教えて下さい
15. 社会貢献事業について



社会事業部部会 会議前の集合写真

懇親会

担当者会同1日目の終了後には懇親会が行われ、各県会との親睦を深めることができました。



全体会議

担当者会同2日目には全体会議もあり、各部座長からの協議事項に関する報告や日調連理事からの報告があり、今回の業務部部会では比嘉常博業務部長が座長として協議内容をまとめた報告を行いました。



比嘉業務部長の報告



全体会議の様子

令和6年度九州ブロック協議会

宮崎ゴルフ大会（フェニックスカントリークラブ）にて開催

日 時：令和6年10月24日（木）

当日は曇りのち小雨の天気の中、九州各県のゴルフ愛好家が参加して競い合いました。

スコア発表前の時間に指名された近藤哲司会員のスピーチで場を温めていただき、いよいよ発表会に。

団体戦もありましたが、沖縄会は、金城会長が（G89）と奮闘しましたがそのほかの参加者のスコアが伸びず…。

個人の成績は、①ブービー賞（半嶺当徹会員）、②66位ゾロ目賞（比嘉常博会員）、③大分会長賞（比嘉定善会員）の3名でした。

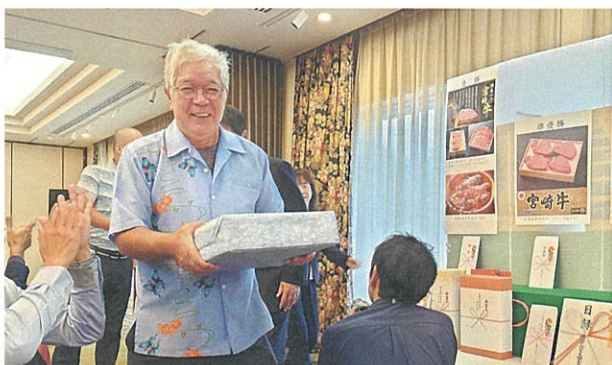
2年後には、沖縄県にて開催されます九州ブロックゴルフ大会がありますが、地元のゴルフ愛好家にはぜひ参加いただき、団体戦を盛り上げていただきたいと思います。



近藤哲司会員のスピーチ



66位ゾロ目賞：比嘉常博会員



大分会長賞：比嘉定善会員



寄稿



沖縄の三線

広報部理事 花城 康 喜

三線の音色は、「気持ちが落ち着く」「心地よくしてくれる」「癒される」という人がたくさんいます。

まだ沖縄が日本復帰する前、出稼ぎやいろいろな事情で、本土で生活したことのあつた人の話でよく聞くのが、ふと聞こえてきた三線の音色や歌声ではるか故郷を思い出し、涙があふれてきたとか、郷愁に想いを馳せたとか、故郷が懐かしくなるような経験をした話をよく耳にしたことがあります。

その三線の魅力は何だろう、自分の場合は物心ついたころに父親が三線を調絃するときの旋律、あるいは家でお祝いがあつた時の余興での踊りでの歌三線、子供の時は園田エイサーの地元で育ち、4～5歳の頃からエイサーはやっていました、エイサーは躍動感がありお盆の道ずねーの時は太鼓の音が聞こえてくると肝ドンドンしましたね。

高校生の時からは地元でエイサーで太鼓を叩き、行きつくところは地謡（歌・三線）が目標だったのが今も現役で頑張っています。

その三線の歴史ですが書籍などから調べてみますと14世紀末に中国福建省から三線の原型となる三弦が持ち込まれ、15世紀ごろから士族の教養の一つとして三線を弾くことが推奨されたようです。そのうちに琉

球の風土に合った三線に変化していった現在の型になっていったようです。

当時は士族の教養でしたので庶民が三線を手にすることはありませんでした。

琉球王国は17世紀ごろからは三線を宮廷音楽として正式に採用し、貿易などで交流のある他国の来訪者を歓待するために、踊奉行など組織され琉球舞踊や組踊が確立されてきました。

それに伴って三線を作る人が所属する三線主取（サンシンヌシドゥイ）の役職が設けられ卓越した名工を輩出し、優れた三線が生まれました。これらは開鐘（ケージョウ）と呼ばれ県有形文化財で県立博物館に所蔵されています。

開鐘の種類、三線の型の種類大枠は下記のとおり

「開鐘」県有形文化財

盛嶋開鐘（モリシマケージョー）、
翁長開鐘（ウナガケージョー）、
志多伯開鐘（シタハクケージョー）、
湧川開鐘（ワクガーケージョー）、
富盛開鐘（トゥムイケージョー）

「三線の型の種類」

真壁型（マカビ）、与那城型（ユナー）、
南風原型（フェーバラ）、
知念大工型（チニンデーク）、
久場春殿型（クバシュンドゥン）、

久葉の骨型（クバヌフニー）、
平仲知念型（ヒラナカチニン）

廃藩置県後は庶民にも三線が親しまれるようになり各地で伝統芸能や民謡などが生まれ、現在では琉球独特の音階は沖縄県外の方をも魅了し、三線を演奏する人がたくさんいます。

石垣島から全国へ進出した「島人の宝」でおなじみのアコースティック・バンド BEGIN（ビギン）などにも代表されるように三線が多様化し「カレン」「サンレレ」など三線に変わる楽器も生まれています。



花城所有の三線 五丁



サンレレ

寄稿



基準点について

那覇支部 親 泊 仲 孝

読んで字の如く、何かする時に基準になるものですね。法律等では、各法律の条文。測量では、測量の基準となる点を基準点と言います。では、測量の基準点について考えてみましょう。公共基準点・任意基準点等を基準にして図面を作成しますが、この基準点の座標値の信憑性を考えますね。特に復元測量をする時は注意が必要です。

この図面を作成した当時の基準点が現地で現存していると安心しながら作業出来ますが、そうでない場合は、図面を作成した当時の測量の方法と同じ方法で復元測量すれば良いのですが、現実的には、難しいですね。よって如何すれば良いかを考えてみましょう。

先ず一番目に考える事は、測量するにあたり、誤差とその対策は、誤差の種類には、過失・定誤差・機械的誤差・物理的誤差・個人誤差・偶然誤差等があります。

各誤差の処理（測量法に則り）をして対策しますが、それでも誤差を完全に消すことは出来ないはずです。よって、各誤差の大きさを考慮しながら作業を進めて行くと思います。大切なのは、各誤差の出来る大きさ（補正の数値）・原因等を理解する事です。

では、小話をひとつ、ハブと仲良しになった調査士。

我々、調査士は仕事柄、現場（特に山林等）でハブと出くわすことがある。全ての生き物は、身を守るために警戒心を持っていると思います。警戒心を解くと仲良くなれるはずです。

あい、長助（ハブ）元気だったか、おはよう、うね、仲孝、君も元気やてーい、となると、しめたものです。ぬうが、ちゅ、の歩かんとくるから、うろうろし、わった～屋敷ぬな～か、やしが、と長助（ハブ）は、すこし警戒しています。ごめん仕事で来ているので、許してくれないか、けして暴力は振るわないから、あんしえ～しむさ、となりましたとさ。（ハブは、方言でしか話せませんでした）このように隣接地主との対応もすれば、立会証明書への押印作業は、うまくいくのではと思ったりします。

寄稿

ギネス記録挑戦

那覇支部 島袋 裕二

R6.08.31 午後12時頃、那覇新都心公園に集合して



「JJ」ことフリースタイルバスケットボールで日本人初にして唯一シルク・ドゥ・ソレイユに認められた男、ギネス世界記録にチャレンジをし、2024年8月にはギネスワールドレコード8タイトルホルダーです。



ギネス記録の挑戦に参加してきました。

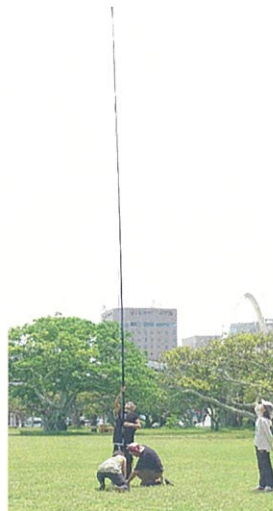
(今回、挑戦する協議はバスケットボールを回転させ、それをボールの先端に乗せてポールを伸ばして行き10秒以上乗せていられたら成功となります。)



①参加者は、(審査員：公認会計士Aさん、税理士Bさん)(記録員：Cさん、Dさん)(測定員：測量士 島袋 裕二)の5名。

②挑戦の前準備で、ボールの先にメジャーの0mを固定していく所からカメラの前で記録していきます。

③いよいよ挑戦開始、ポールをどんどん伸ばして(最高点：10.440m)そこから、10秒以上ボールが回転し続けて記録達成!!





④挑戦前からビデオを撮影し続けて、測定員の証言も記録して、あとは、ギネス認定申請の書類にレポートを添付して、2～3か月後に認定申請が決裁されたら9個目のギネス記録認定となります。



⑤「JJ」との記念撮影（ギャラリーと一緒に）



⑥この日は、別な仲間のギネス記録挑戦も行われていました。こちらは顔面の左右目の上でリフティングを行い時間を競う競技でした。

支部だより

宜野湾支部

令和6年宜野湾支部 第20回定時総会の開催後、本年4月付で勇退した嘉手川重要先生の送別会を行いました。

嘉手川先生の長年の貢献に対する感謝を示し、支部から記念品を贈呈して参加者一同が和やかな雰囲気の中での送別会となりました。



調査士業務 53 年間お疲れ様でした。



花束贈呈



記念品贈呈



約半世紀を振り返っての挨拶

嘉手川重要先生 53年間、お疲れさまでした！



公嘱協会だより



ご挨拶

公益社団法人 沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

代表理事 島 袋 裕 二

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当協会の公益目的事業につき、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当協会は公益社団法人として、「不動産に関する権利の明確化推進」実現のための事業を進めております。

ここで最近の公益目的事業の進捗について報告したいと思います。

まず、登記基準点設置事業について、那覇市内において新たな登記基準点3点を設置し、日本土地家屋調査士会連合会登記基準点評価委員会へ登記基準点認定申請を行い、この度認定いただきました。また、認定された登記基準点の情報は近日中に当協会ホームページにある認定登記基準点閲覧システムにて公開する予定です。

次に境界標埋設事業につきましては、令和2年4月の土地基本法改正に伴い、国及び地方公共団体においても土地の境界の明確化について必要な措置を講ずるものとされたことから、調査士会や政治連盟のご協力を仰ぎつつ、沖縄県や市町村に対し、境界管理の重要性をアピールし、公共事業により新設された道路又は拡幅された道路における官民境界の復元と境界標の設置について啓蒙活動を行っております。

地図整備の促進に係る事業については、昨年度は那覇市久米一丁目、二丁目地区における登記所備付地図作成作業を受託し、那覇地方法務局のご協力のもと、確定率100%の地図を作成することが出来ました。現在は、那覇市東町、西一丁目、二丁目において継続して作業を実施しており、また、今年度から新たに那覇市辻一丁目、二丁目、三丁目地区の地図作成にも着手しております。

普及事業では、いつ起こるか分からない災害に備え、調査士会のご後援のもと、市町村職員や土地家屋調査士を対象に「被害認定調査の方法～平成28年熊本地震被害における調査について～」と題し、大分県公嘱協会より講師として古庄真一氏をお招きした講演会を実施いたしました。参加された自治体職員の皆様からは、「民間の立場からしか得られない経験談が多く、大災害時に行政と民間が連携していく際の参考となった。」、「マニュアル以外の生の事例を聞けてよかった。」など大変ご好評をいただきました。

公共嘱託登記に関する事業については、すこしずつ裾野を広げ、ご理解をいただき業務を受託させていただいておりますが、一部の市町村では未だに非調査士へ委託している状況が散見されます。

そこで、今回、会報への寄稿にあたり、会員の皆様に次の3点について、ご協力を求めたいと思います。

まず、1点目は、土地家屋調査士法第89条（非調査士等との連携の禁止）「会員は、調査士会に入会している調査士又は調査士法人でない者に、自己の名義を貸与する等、他人をして調査士の業務を取り扱わせるよう協力し、又は援助してはならない。」を厳守して下さい。

我々は土地家屋調査士制度の維持発展を望む団体として、沖縄県土地家屋調査士会に対し会員指導を強く求めています。

2点目は、若手の人材確保・育成のため、皆様の事務所職員（補助者）を土地家屋調査士資格取得へ導いて下さい。

最後に、当協会では優秀な人材を求めています。各地域の事情に精通した会員の皆様、当協会への入会をご検討ください。

測量技術の飛躍的な進歩や社会情勢が目まぐるしく変化する中、我々は公益社団法人として、公益目的事業の継続的な実施を通し、国民の不動産に関する権利の明確化実現に向け、邁進するとともに土地家屋調査士業界全体の発展のため、誠心誠意努力しますので、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新入会員紹介



やま しろ
山城ルネ
昭和56年11月生
登録番号 第535号

入会 令和5年11月1日
登録 令和5年11月1日
事務所 〒904-2172
沖縄市泡瀬4丁目46番13号(202)
電話 080-3229-7667



ひ が なお き
比嘉尚樹
昭和62年10月生
登録番号 第536号

入会 令和6年1月10日
登録 令和6年1月10日
事務所 〒904-2153
沖縄市美里5丁目3番14号
プレミアムコート美里第二302号
電話 090-1948-6213



おか あずさ
岡梓
昭和57年5月生
登録番号 第537号

入会 令和6年3月1日
登録 令和6年3月1日
事務所 〒905-0214
国頭郡本部町字渡久地2番地3
電話 080-8050-9284



とも よせ しょう た
友寄翔太
平成8年2月生
登録番号 第538号

入会 令和6年5月1日
登録 令和6年5月1日
事務所 〒904-2165
沖縄市宮里1丁目30番25号
コーポコスモス303
電話 080-6494-5391

新入会員挨拶



中部支部
やましろ
山城ルネ

初めまして。令和5年11月1日に登録・入会いたしました山城ルネと申します。

私は、前職で嘱託登記業務に携わり土地家屋調査士の仕事に興味を持ち勉強を始めました。辛い試験勉強も家族の応援と上司や先輩方の温かい言葉に励まされ、続けていくことができました。

調査士事務所で務めてからは、現場の作業は不慣れなことばかりで迷惑を掛けたこともありました。それでもお世話になった先生は私の体力の無さを考慮した作業を振り分けて下さり、続けることができました。開業してからも業務のお手伝いを通して助言を下さり感謝しております。

現在も業務をする中で分からないことばかりで日々頭を悩ませている状態です。そんな中、一緒に勉強会に参加し、相談できる仲間の存在は心強く、とても励みになっています。

今後も研修に参加したり、業務に携わりながら勉強して、将来的には、地域や土地家屋調査士会に貢献することを目標に精進してまいります。また、どんなに忙しくても応援してくれる家族への感謝を忘れずに家庭と業務を両立しながら働いていきたいと思っています。

先輩の皆様、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中部支部
ひきが
比嘉尚樹

会員の皆様、はじめまして！令和6年1月に登録開業致しました比嘉尚樹と申します！

私は、不動産営業の経験がありその時に土地家屋調査士という仕事を知りました！土地の売買などで土地家屋調査士の先生とお付き合いさせて頂き土地家屋調査士の魅力に引き込まれ私も土地家屋調査士になりたいと思うようになりました！

ですが小さい子供が3人おり、妻の協力がなければ、土地家屋調査士として勉強する事ができませんでした！

妻と相談をして、3年で試験に受からなければ諦めるという約束で土地家屋調査士事務所に勤めながら勉強させてもらい、無事合格する事ができました！

これから大黒柱として精一杯努力し、家族を安心させていきたいと思います！

まだまだ未熟で会員の皆様へご迷惑をかけると思いますが、調査士会へ貢献できるよう努めて参りたいと思います！今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します！

新入会員挨拶



北部支部
おか
岡

あずさ
梓

令和6年3月に会員登録いたしました、北部支部所属の岡 梓と申します。

土地家屋調査士の業務は幅広い知識と柔軟な判断が求められることを日々痛感する毎日を過ごしております。登録前にお世話になりました國吉先生をはじめ、登録してから多くの先生のお知恵を拝借させていただきながら、少しでも早く先生方に追いつきたいと頑張っております。出会う先生方が皆親切で、知識と経験を共有して下さることに頭の下がる思いです。この御恩をいつか調査士会の皆様へお返しできるように精進したいと思います。

どうぞこれからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



中部支部
とも よせ しょう た
友 寄 翔 太

沖縄県土地家屋調査士会会員の皆様、初めまして。令和6年5月に登録・入会させていただきました友寄翔太と申します。

前職は型枠大工をしておりましたが、これからは土地家屋調査士を一生の仕事とすべく沖縄市に開業いたしました。自分らしさを大事にし、さらに活気のある沖縄会にしたいと思います。

補助者経験も少なく未熟で不安ですが、調査士の先生方、関係者の方々にアドバイスやサポートをしていただきながら感謝の気持ちを常に持ち、土地家屋調査士の品位を落とさないよう日々勉強し精進してまいります。

宜しくお願い致します。



スナップレポート

令和5年度 第1回業務研修会

令和5年11月30日(木)



調査士会 忘年会

令和5年12月1日(金)



調査士会 新年会

令和6年1月5日(金)



おきなわ境界問題相談センター研修会

令和6年2月1日(木)



令和5年度 第2回業務研修会



令和6年3月6日(水)

那覇地方法務局
野見山局長離任挨拶

令和6年3月25日(月)



合格者オリエンテーション

令和6年3月29日(金)



弁護士会役員就任挨拶

令和6年4月1日(月)

那覇地方法務局
山内局長着任挨拶

令和6年4月5日(金)



九州ブロック会長会議 ゴルフコンペ バスツアー

令和6年4月6日(土)・4月7日(日)



総務部からのお知らせ

総務部長 半 嶺 当 徹

「戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱管理規程」

「戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書」（以下「職務上請求書」という。）の取り扱いに関し、上記の規程を遵守してください。注意点を列記いたしますので職務上請求書の購入、使用及び管理に当たりご注意くださいようお願い致します。

《購入に際しての留意点》（持参品等）

1. 原則「会員本人」が事務局で購入してください。
2. 「会員証」を持参、ご提示ください。
3. 「戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書購入申込書」及び「誓約書」（職印の押印が必要です。）をご提出ください。
4. 使用済みの「職務上請求書控綴込帳」を持参、ご提示ください。

《使用に際しての留意点》

1. 「職務上請求書」の使用に当たっては、戸籍法、住民基本台帳法等の関係法令及び土地家屋調査士法の趣旨を十分に理解した上で、不正使用のないようにしてください。
2. 「職務上請求書」を使用する都度、「職務上請求書綴込帳」から切り離し使用し、「職務上請求書綴込帳」は事務所保管場所から持ち出さないでください。
3. 「職務上請求書」を使用したときは、「職務上請求書使用簿」に必要事項を記入してください。この「職務上請求書使用簿」の写しを、毎年1月31日までに本会事務局にご提出ください。

《管理に際しての留意点》

1. 「職務上請求書」の管理に当たっては、盗難、紛失又は毀損を防止するために自ら適正に管理してください。
2. 「職務上請求書」の盗難又は紛失の事実を知った場合は、速やかにその旨を本会に報告し、管轄の警察署へ盗難又は遺失物届を行ってください。

編集後記

広報誌の編集に携わり、2年目を迎えることができました。初年度は、広報誌の制作過程に慣れることが一つの目標でしたが、執行部をはじめ担当理事や事務局の皆様のご協力と温かいご支援により、無事にこの1年を乗り越えることができました。

2年目の今回も、引き続き会員の皆様に役立つ情報をお届けすることを目指し、工夫を重ねました。特に、役員による活動報告や外部への広報活動の詳細を分かりやすく伝えることに力を入れました。土地家屋調査士という職業の社会的役割や意義を、多くの方々に理解していただけるよう努めています。

社会奉仕と広報活動の一環として今年は沖縄会では初となる試みとして、県内の工業高校で出前授業を実施しました。この取り組みは、次世代の若者に土地家屋調査士の重要性を伝える貴重な機会となり、今後も継続していくことを目指しています。

また、地元メディアに向けたプレスリリースを行いました。こちらについても今後も継続していく予定です。

この2年間で学んだことを生かしつつ、より読みやすく、実用的な広報誌を作り上げるため、今後も精進してまいります。次号でも皆様に喜んでいただける内容をお届けできるよう、引き続き努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

広報部部长 諸喜田 秀和
広報部理事 花城 康喜
広報部理事 島袋 裕二

Think different

Support Service

～新しい発想を～



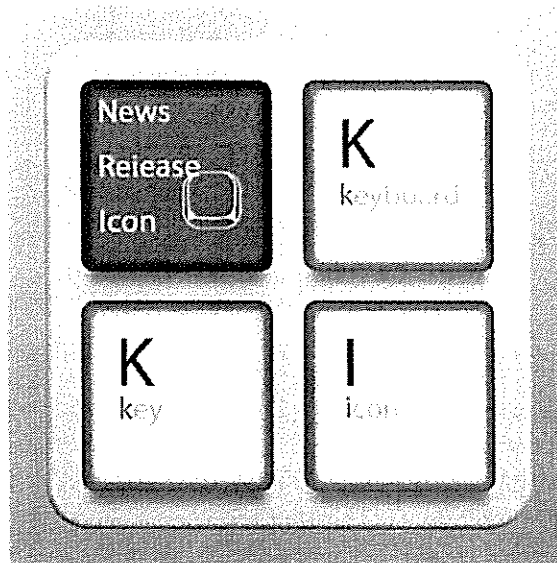
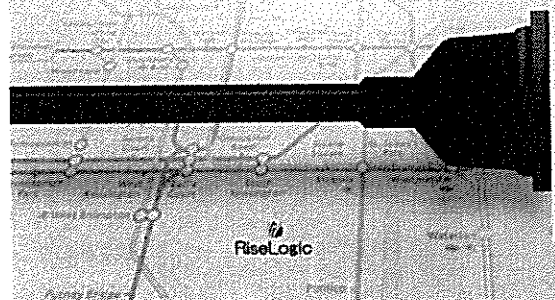
株式会社 Rise Logic

沖縄県中頭郡北中城村字島袋549-46

TEL 098-933-6381

Info@rise-logic.com

As a computer apparatus sale company in Okinawa, I establish the position, and we RiseLogic provides the service in conjunction with the computer among a company.



Rise Logic

Trimble SKY Controller 登記多角点観測オプション

Trimble Partners Okinawa Inc.
トリムブルパートナーズ沖縄有限公司

沖縄県那覇市銘苅21-1 ユーカリ那覇209
TEL 098-861-7917 FAX 861-7915

登記多角点観測を
優しくガイドする
画面構成

画面メニューの手順に沿って
「誰でも」「カンタンに」「確実に」
登記多角点観測と TS 点間チェック

特別なコマンド「登記多角点観測」

オプションを対応の SKY Controller ではアプリ選択画面に、「登記多角点観測」メニューを表示。日調連マニュアルにおける作業は、与点座標の登録から TS との較差チェック、データ出力までこのメニューの中で完結します。

作業手順通りに並んだメニュー

登記多角点観測オプションは上から順番にすることでマニュアルに即した観測が可能です。

- ・ 与点登録：与点座標を登録する
- ・ 与点観測：与点を VRS で観測し、成果値とのチェックを行う
- ・ 与点整合補正計算：与点較差が範囲外の場合の補正計算
- ・ 測点観測：登記多角点との観測
- ・ 点検観測：登記多角点の点検測量
- ・ TS 較差チェック：登記多角点間距離の TS による点検
- ・ データ出力：帳票用 XML ファイルの出力

「一連の流れ」で作業を行う

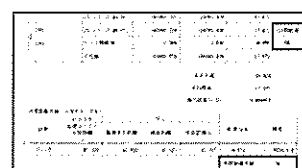
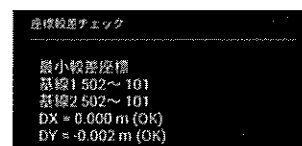
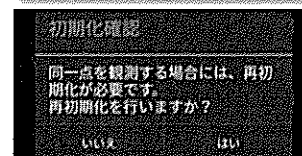
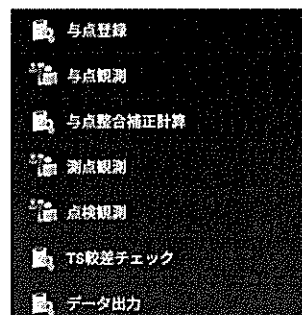
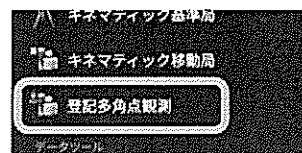
与点登録では座標データの整合既知点タブが自動で開き、そのまま手入力や SIMA データの取り込みができ、観測点で続けて 2 回観測を行う時も再初期化を促すメッセージが出るなど、画面を行ったり来たりすることなく、作業が完結します。

その場で較差チェックが可能

2 回観測の較差、与点成果値との較差、点検測量における本観測との較差などは、観測完了時に結果をポップアップ表示。「OK」と「NG」が色でも表されるので識別しやすくなっています。

特別な帳票を作成

観測後のデータは XML 形式で出力し、PC で Word 形式の帳票を作成します。PC 用帳票作成プログラムは登記多角点観測オプションについてくるので、そのためのソフトウェアを購入する必要がありません。

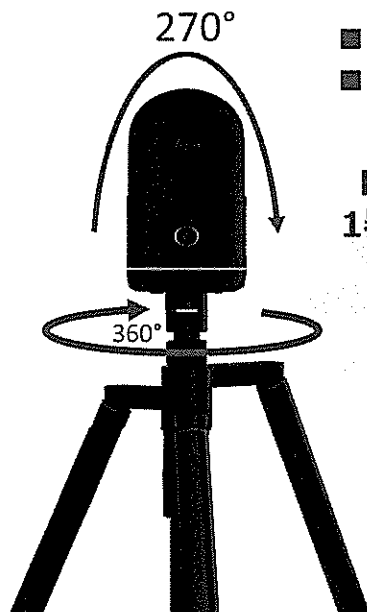


世界最小3Dレーザースキャナーを 駆使した2次元平面図作成!

Leica 軽量

3Dレーザースキャナー BLK360G2

3次元計測も、成果作成も、1日で終わらせよう!



- IMU搭載で地心・求心、不要です。自動合成可能!
- 越境観測・現況観測・隣地への負担が最小限に!

BLK360G2なら
1器械点の計測時間
約1分50秒
(写真撮影込)
※Medium密度の場合



計測

取り込み

点群クリーニング

IT導入補助金等、
各種補助金制度
もご利用頂けます。
お気軽にご相談
下さい。

【3D点群編集ツール】(ウィングアース)



Wing Earth



日頃使い慣れた測量CADで
連携させて現況トレースも!

【登記測量CADシステム】

(ウィングネオ インフィニティ)

WingNeo.

INFINITY



アイサンテクノロジー株式会社 沖縄地区特約店
ライカジオシステムズ株式会社 測量機器販売店



AISAN TECHNOLOGY

- when it has to be right

Leica
Geosystems



フナテック

〒901-2424 中城村南上原726番地1 306号室
TEL:050-3386-2539 FAX:050-3737-3070
URL: funatec.co.jp QRコードはコチラ→



土地家屋調査士様向け 点群を用いた図面作成

登記測量向け 小エリア点群 有効活用術

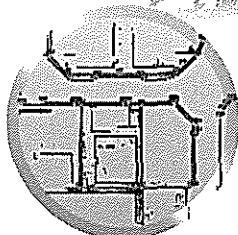


WingEarth

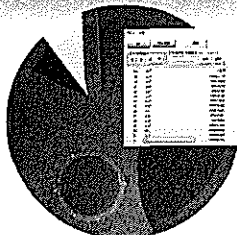
TS観測と、3次元点群計測のイイところ獲り！

帰ってから
安心の現場ビューイング

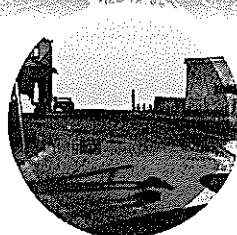
図面・地図の重ねビューイング

作成しながら
いつでも平面ビューイング

平面感覚で構造線作成

ある高さ帯の点群のみを簡単に
表示できるため、建物外周線も
簡単にトレース！

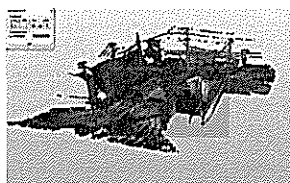
点群から測量座標登録

必要な位置のみクリックで座標
化。仕上げをお使いの測量シス
テムでも可能！

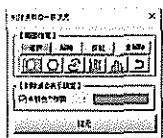
平面図用の観測を高速化

点群上でのレイヤー分けできる
結線で、3次元から平面図を簡
単作成。

断面観測も点群から

3次元で現場を測れば局社後の
PC作業で断面切り出し。LHデ
ータ出力にも対応！

「削除」と「一部復元」機能が強力！



そのとき不要な点群をいつでも「削除」できます。
削除した点群は、「全部復元」「一部復元」によっていつでも復元
できるため、そのとき必要な点群のみを表示した3次元作業環境が
実現します！



基準点・引照点・境界点はTS観測、平面図・道路横断面図には3Dスキャナを活用。
現場全体を事務所でも把握できる「3次元点群」からPC作業での座標登録、結線作成が簡単に！

お使いのCADと連携

お使いの登記測量CADによる計算・図面編集と連動した、点群活用による省力化を実現します！



体験版 デモ依頼 カタログ請求

WingEarth で検索

<https://www.aisantec.co.jp/wingearth/>
弊社営業担当までお気軽にご相談ください！



AISAN
TECHNOLOGY CO.,LTD.
<https://www.aisantec.co.jp/>

アイサンテクノロジー株式会社
沖縄地区特約店

株式会社フナテック
TEL:050-3386-2539



初学者向け 通信教育
午後の部試験攻略のための

**改正法に
完全対応!!**

特典!

本試験会場に持ち込める
必携の記述式用器具付き!

- ・縮尺定規「すいすい君
すらすらちゃん」
- ・全円分度器

**土地家屋調査士 MP4映像
ダウンロードタイプ**

新最短合格講座

ホームページで
サンプル映像
配信中!



内堀クラス

レクチャー

内堀 博夫
 本学院専任講師

山井クラス

レクチャー

山井 由典
 本学院専任講師

注目!

東京法経学院は
 ココがちがう!

8つのポイント

1 合格実績が違う!

他を圧倒した合格者を輩出
 しています!

令和5年度土地家屋調査士試験
 東京法経学院合格輩出実績
合格者428名中323名輩出
合格占有率 75.5%
 ※詳しくはHPにてご確認ください。

2 講師陣が違う!

講師陣の層の厚さが半端ない!

真の講義力は、受講生の反応をリアルタイムで確認しながら進める対面授業(イン・パーソナル・クラス)によって身に付くものと考えておりますが、担当の各専任講師は対面授業時間数が1万時間を超えております。本講座では、その対面授業で培った能力を十分に発揮していますので、安心して受講していただくことができます。近年合格した方を教壇に上げることはございません。

試験を知り尽くした講師陣が総力で、教材制作や答案講座等の問題作成にあたっています。試験傾向を徹底的に分析し、どのレベル、どの角度からの問題にも対応できる良質の問題作成に取り組んでいます。

3

テキスト・教材が違う!
 入学しなければ入手できない、
 講座専用完全オリジナル教材

本講座の学習に使用する教材の選択は、その後の進捗のすべてを左右する大切な部分です。本学院では、受験指導校としての実績をもとに合格に必要な不可欠な知識を余すことなく網羅し発刊した、講座専用の完全オリジナル教材「合格ノート」と「記述式攻略ノート」を使用いたします。本教材は非売品ですので本講座に入学しなければ入手することはできません。また答案練習講座(答練)に進級した際に使用する解説書の【参照】欄には「合格ノート」の参照頁を記載しておりますので、復習の際のムダな時間を大幅にカットできるうえ、本試験直前の総まとめの場面においても、爆発的な威力を発揮する、まさに合格までのオールインワン教材となっております。

4

全コースに「過去問テキスト」がついてくる!
 "平成年代"完全制覇! 昭和年代も
 重要問題はセレクトして収録!

資格試験において、過去問学習は必須項目です。本学院の過去問集は昭和年代からの過去50年以上の過去問を、常に最新の法令に準拠させ、受験生の皆様にご提供しております。基礎力総合編にも含まれています。

5

もちろん、複素数にも対応しています!
 複素数の修得は必須です!

土地家屋調査士試験は、まさに時間との勝負と言われる程、知識とテクニックが問われる試験といえます。複素数の修得はそれだけで有利になる計算テクニックなのです。

6

ダウンロード講義ファイルが扱いやすい!
 (MP4ダウンロードタイプの方)
 USBメモリ保存可能!

スマホタブレット等のオフライン視聴も可能!

本学院のダウンロード講義ファイルは、一度ダウンロードしていただければ、あとはオフラインで視聴いただけます。USBメモリに入れて別のパソコンでの視聴はもちろん、スマートフォン・タブレット等のモバイル端末でのオフライン視聴も可能ですからバケット量を気にすることはありません。しかも削除されない限り、受講期間終了後も視聴できるから安心です。もちろん、ストリーミング再生にも対応しております。

※ファイルのコピーは受講生ご本人様の使用に限り許可しており、それ以外の複製・転売は固くお断りしております。

7

充実した答練講座がちがう! (総合コースの方)
 試験を知り尽くした講師陣による炸裂!
 的中率の高い新作予想問題!

過去問は最良の学習教材であります。がしかし、過去問が本試験に出題されることはありません。本学院の答案練習講座(答練講座)は試験を知り尽くした講師陣によって、徹底的に試験分析を行い、狙われるであろう論点を確実に網羅できるよう、すべて新作問題を出題しています。基礎力総合編の受講後は、答練講座をベースメーカーとすることで、毎日が本番をシミュレーションすることができ、自然と合格レベルに達することが可能となります。

8

学習方法等の悩みはオンラインでサクッと解決!
 オンラインカウンセリングがあるから安心です!

「記述式の学習方法がわからない」「何から始めれば良いかわからない」などの不安や悩みを本学院講師によるオンラインカウンセリングで解決します。PC・スマホ・タブレット等の各種端末に対応しております。

[完全予約制・月1回まで・15分/1回]

学費
 (10%税込)

会長様の推薦状があれば、
特別減免学費でお申込み
 できます。

土地家屋調査士 新・最短合格講座
 基礎力総合編/
 MP4映像ダウンロードタイプ

● 一般学費 **152,600円**
 ● 特別減免学費 **129,710円**



高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL

東京法経学院

★TEL. 03 (6228) 1453

★FAX. 03 (3266) 8018

★HP. <https://www.thg.co.jp>

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカバビル1階



資料請求



FUKUI COMPUTER

2024.7.16
新発売測量業、
土地家屋調査士業向け
スマートフォンアプリ登場!

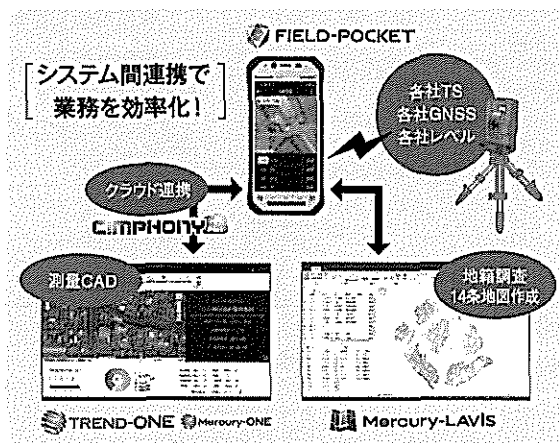
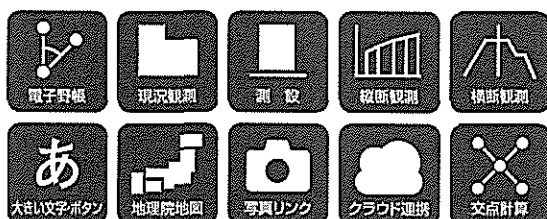
待望のワンマン計測アプリが新登場!



FIELD-POCKET

現場測量アプリ【フィールドポケット】

FIELD-POCKETは、Android搭載のスマートフォンで動作する、測量・土地家屋調査士業向け観測アプリです。
交点計算、電子野帳観測、現況観測、縦断観測、横断観測、測設など、外業用途における機能を搭載。
弊社測量CADとの連動性に優れており、外業内業共に一連の測量業務を非常に効率化することができます。



福井コンピュータ株式会社

九州営業所／福岡市博多区博多駅東2-2-13 博多駅前ビル3F

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・
さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・福井・
京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・
熊本・別府・宮崎・鹿児島

◎製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ会社案内]

0570-039-291

福井コンピュータ

https://const.fukui-compu.co.jp

【好評書籍のご案内】

押さえておくべき知識から希少な事例まで現場での疑問・実例を網羅！
今もなお実務を支える、信頼のロングセラー。

新 版

Q&A

表示に関する登記の実務

中村隆・中込敏久 監修 荒堀稔穂 編集代表

- 「設問→解答→解説」の流れでわかりやすく解説。
- 根拠条文・先例・判例と関連付けた具体的な解答を提示。
- 実務現場での利便性を考慮し、事項索引、法令・先例・判例索引を収録。

第1巻 登記手続総論・土地の表題登記・分筆の登記

2007年1月刊 A5判 560頁 定価5,170円(本体4,700円) → 特価4,650円(税込)

第2巻 合筆登記・地積更正・地目変更・地図訂正

2007年5月刊 A5判 560頁 定価5,280円(本体4,800円) → 特価4,750円(税込)

第3巻 地積測量図・土地の滅失の登記・特殊登記

2007年11月刊 A5判 500頁 定価4,950円(本体4,500円) → 特価4,460円(税込)

第4巻 建物の表題登記・建物の増築の登記

2008年5月刊 A5判 504頁 定価4,950円(本体4,500円) → 特価4,460円(税込)

第5巻 建物の合体・合併・分割の登記、区分建物の登記、建物の滅失の登記、建物図面関係

2008年12月刊 A5判 640頁 定価6,050円(本体5,500円) → 特価5,450円(税込)

特別編 筆界特定制度 一問一答と事例解説

筆界特定実務研究会 編著

2008年1月刊 A5判 672頁 定価6,160円(本体5,600円) → 特価5,540円(税込)

特別価格・送料当社負担	書籍注文書	ご注文締切	2024年11月29日(金) 必着	お届け	確認後、4～5営業日で、郵送または宅配にて出荷します(国内限り)。 ※在庫が無い場合は、少々お時間を頂きます。
ご注文	FAX.03-3953-2061			お支払	商品に同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料は当社負担)。
書 名		特価(税込)	部数	書 名	
第1巻 登記手続総論・土地の表題登記・分筆の登記		49081 表裏1	4,650円	部	第2巻 合筆登記・地積更正・地目変更・地図訂正
第3巻 地積測量図・土地の滅失の登記・特殊登記		49083 表裏3	4,460円	部	第4巻 建物の表題登記・建物の増築の登記
第5巻 建物の合体・合併・分割の登記、区分建物の登記、建物の滅失の登記、建物図面関係		49085 表裏5	5,450円	部	特別編 筆界特定制度一問一答と事例解説
					49082 表裏2
					49084 表裏4
					49086 表裏特

右記コードまたはURLからでも
特別価格・送料当社負担にてご注文いただけます！
<https://forms.gle/LLHHiR9SxxVVeDxK6>



■ご注文日 年 月 日 販促コード：205119

フリガナ	TEL
お名前	FAX
ご住所 〒	通信欄

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、お支払いの確認などの連絡および当社からの各種ご案内(刊行物のDM、アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 www.kajo.co.jp
営業部 TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 X(旧Twitter):@nihonkajo



見た目以上の高性能！現場でわかる圧倒的なパフォーマンス。

HiPer VR
GNSS受信機

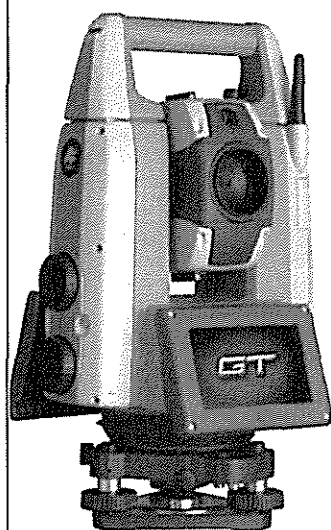
LongLink 通信
デジタル 無線
セルラー 通信

マルチGNSSに対応し
安定した測位機能を実現！
コンパクトな一体型GNSS受信機

新たなモーター制御技術を搭載！
ハイクオリティな追尾を実現！

Geodetic Total Station GT-1200/600シリーズ

自動追尾モデル/自動視準モデル



Smooth Drive
Control搭載！
新たなモーター
制御技術で
スムーズな
プリズム追尾を実現！

SMOOTH DRIVE
CONTROL

NEW

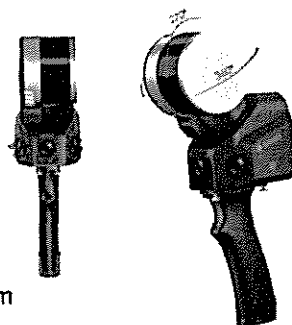
アジルジオデザイン株式会社
STONEX製 SLAM

GNSS不要で歩くだけで三次元データ収集が可能

3Dハンドヘルド
レーザースキャナー

X120GO

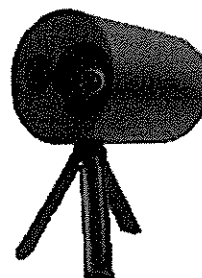
X120GOを手にとって、
スタートボタンを押して
歩くだけで、三次元データ
の収集が可能です。
計測最大距離は0.5m~120m



GNSS不要で精度3mm@1mを実現する最新鋭の
写真測量デバイス
vSLAMスキャナー

XVS

かつてない写真測量を可能にした
XVSは、搭載したRGBカメラと
vSLAMカメラにより、最長40mの
対象物まで撮影した高解像度画像
から、3Dモデルを生成します。



トータルステーション、GNSS受信機などの測量機器販売、メンテナンス、
レンタル、測量設計用CADシステムなどのソフト販売、サポートの事ならお任せください！

お問合せはお気軽に
☎ 098-992-3115



ISO校正・検査事業者認定店 J1901006

有限会社 南部測量機

〒901-0306
沖縄県糸満市
西崎町4-17-23



メールアドレス：nanbusok@siren.ocn.ne.jp ホームページ：http://nanbusok.com



安定した「はかる」を提供します

株式会社 測機システム

サービス事業部

メーカー問わずご相談下さい

JSIMA日本測量機器工業会
校正・検査認定事業者
ソキア認定サービス店

5方向 コリメータ設備
恒温槽(環境試験)設備
GNSS(GPS)検査設備
TLS(地上型レーザースキャナ)検査設備



測量機検定室

- ・社内検査
定期点検、修理
校正検査、精度試験
- ・県内唯一、GNSS(GPS)検査
地上型レーザースキャナ検査も可能
- ・証明書発行
検査報告書、検査成績書
校正証明書、試験成績書
- ・機器検定受付
日本測量協会技術センター
日本測量機器工業会(JSIMA)

レンタル事業部

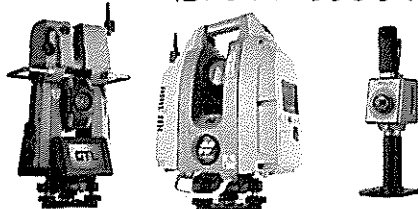
最新機器をご用意しております



トプコンソキアポジショニングジャパン
ビジネスパートナー

・3D計測

ドローン・3Dスキャナー
LiDAR、解析サービス
他レンタルあります！



・GNSS・MDTS測量



超コンパクトGCX3

・i-Construction BIM/CIMサポート



杭ナビショベル MC/MG

- ・電子平板、ライノレーザー、トランシーバー
- ・環境測定機器、建設材料試験機
(振動騒音・ガス酸素・水質・土質・風速計など)

販売サポート 事業部

業務効率化を支援します



福井コンピュータ認定店

・ソフトウェア

土地家屋調査士専用
公共測量・設計専用
土木測量専用
土木積算専用
建築設計専用
導入指導・保守

・ハードウェア

パソコン、パソコン
周辺機器一切
ネットワーク設置
メンテナンス

・サブリースサービス

リースサポートサービス

・測量/計測機器全般

- ・環境測定機器/安全機材
- ・建設材料試験機
- ・境界明示用品(プラ杭他)
- ・設計/製図用品
- ・複写機/事務機事務用品
- ・セミナー企画(CPD/CPDS)
- ・講師派遣

お問い合わせはお気軽にご連絡下さい！

<https://www.sokki-system.jp/>

TEL 098-857-6500

FAX 098-857-0713

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄753番地8

測量機器総合保険

(動産総合保険)

のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴
「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

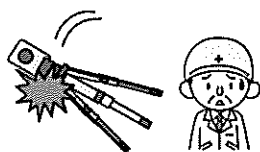
会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。

例えば

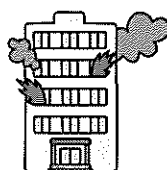
1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、自宅等
に保管中に盗難にあった。



等

● 個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の年間保険料

測量機器総合保険(本制度): 31,300円

動産総合保険(個別加入): 83,820円

● 免責金額はありません。

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。

ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2024年4月1日午後4時から2025年4月1日午後4時まで

※保険期間の中途での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

約63%
割安!

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10

土地家屋調査士会館6F

TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL 03(3259)6692



提供 花城康喜広報部理事

沖縄県土地家屋調査士会 会報おきなわ NO.64

発行日 令和6年12月1日
編集者 金城 行 男
広報部長 諸喜田 秀 和

発行所 沖縄県土地家屋調査士会
那覇市泉崎2-1-4
電話 (098)834-7599

印刷所 株式会社 国際印刷
電話 (098)857-3385